2019 中部生産性会議

「新時代に対応した人と企業が共に成長する仕組みづくり」

～働き方改革の取り組みの進化が必要とされる中～

メルパルク名古屋
9月10日(火)・11日(水)

講演 1

日本航空㈱ 代表取締役副社長
藤田直志 氏

講演 2

㈱日本レーザー 代表取締役会長
近藤宣之 氏

講演 3

㈱小西美術工藝社 代表取締役社長
デービッド・アトキンソン 氏

分科会 1

1－A パナソニック㈱ A Better Workstyle編集局主幹
井川和彦 氏

1－B 味の素㈱ 人事部労政グループ 兼 健康推進センター シニアマネージャー
菊地さや子 氏

分科会 2

2－A 太陽生命保険㈱ 人事課長
一番ヶ瀬智彦 氏

2－B ㈱フジクラ CHO補佐
㈱フジクラ健康社会研究所 代表取締役
浅野健一郎 氏

分科会 3

3－A ㈱リクルートマネジメントソリューションズ 主任研究員
桑原正義 氏

3－B ㈱アドバンテッジリスクマネジメント シニアコンサルタント
キティこうぞう 氏

特別講演

㈲志縁塾 代表取締役
大谷由里子 氏

主催：一般財団法人中部生産性本部・中部地方労働組合生産性会議
共催：中部インダストリアル・エンジニアリング協会・中部マーケティング協会

趣　旨

少子高齢社会の到来等により、人材の需給逼迫が顕在化しつつある中、持続的成長に必要不可欠な働き方改革やダイバーシティ実現のための環境整備や意識改革が喫緊の課題になっています。

このような中、本年４月から働き方改革関連法が施行され、各企業には長時間労働の解消、有給休暇取得促進や、女性や高齢者など多様な人材の活躍推進などに対する取り組みの進化が一層求められることになります。
加えて、ＡＩやＩｏＴといった新技術が登場し、新たな視点から生産性向上に寄与していく可能性に大きな期待が集まっています。

しかし、技術進展が進む中であっても、あくまで主役は人であり、人を基軸としたイノベーションが、持続的な成長、生産性向上のために一段と重要になってきています。

そのためには、生産性向上に寄与する働き方改革や、多様な人材が能力を十分に発揮できる環境づくりが必要不可欠であります。

そうした中で、本年度の中部生産性会議では、「新時代に対応した人と企業が共に成長する仕組みづくり」～働き方改革の取り組みの進化が必要とされる中～　をテーマとして、労使を取り巻く様々な背景、テーマ、課題、先進取り組み事例を共有し、経営層から人事、労働組合の方等、様々な立場の関係者が一堂に集い、生産性向上について考える場として実施いたします。

一般財団法人 中部生産性本部
会　長　**小　倉　　忠**
〈㈱ノリタケカンパニーリミテド　代表取締役会長〉

中部地方労働組合生産性会議
議　長　**西　野　勝　義**
〈トヨタ自動車労組　執行委員長〉

1日目　9月10日(火)　13:00～17:20

● **開会挨拶**　13:00～13:10　**一般財団法人中部生産性本部**　会　長　**小　倉　　忠**
㈱ノリタケカンパニーリミテド　代表取締役会長

● 講　演 1　13:10～14:10

「フィロソフィと部門別採算制度（アメーバ経営）」
～日本航空再生の道のり～

日本航空㈱　代表取締役副社長　**藤田直志** 氏

2010年1月、2兆3,000億円という事業会社としては戦後最大の負債を抱えて、会社更生法の適用を申請した日本航空。その再生のため、同社の会長に就任した稲盛氏のリーダーシップの下、当初は社員の一体感もなく、再建は不可能と言われていた中でも、同氏が示した「フィロソフィ」と「部門別採算制度（アメーバ経営）」を踏まえた経営改革により、V字回復を成し遂げています。その改革の推進者の1人である藤田副社長より、社員一人ひとりに経営者意識を芽生えさせ全社員が主体的に考える仕組みづくりなどの改革の道のりとそれを支えたフィロソフィについて伺います。

● 講　演 2　14:30～15:40

「皆が幸せに働きながら、常に黒字を維持できる経営」
～表面的な働き方改革の前にすべきこと～

㈱日本レーザー　代表取締役会長　**近藤宣之** 氏

日本レーザーはレーザー機器、光学機器の専門商社として1968年に創業。「ホワイト企業大賞」や「日本でいちばん大切にしたい会社」の大賞受賞をはじめ、多くの表彰を受賞してきています。その背景には、社員それぞれの力を活かし会社を成長させる優れた取り組みがあります。本講演では、1994年の着任以来、日本レーザーを率い、導いてきた近藤会長に、社員を大切にする経営の在り方、組織づくりについて伺います。

● 講　演 3　16:00～17:20

「生産性向上戦略」
～人口減少・高齢化を生き抜くために～

㈱小西美術工藝社　代表取締役社長　**デービッド・アトキンソン** 氏

日本の1人当たり労働生産性は、OECD加盟36ヵ国中21位で、2013年から順位が変わらず、主要先進7ヵ国で最も低い水準となっており、また人口減少に伴う生産年齢人口の減少が進む日本において、生産性向上の実現は喫緊の課題となってきています。アトキンソン氏は、約30年日本に在住し、日本の伝統文化に造詣が深く、また各方面に向けて自らの考え方を活発に発信されています。日本が再び一流先進国の地位を確かなものにするため、どの様な生産性向上戦略が必要とされるか、近著ベストセラー「日本人の勝算」の内容を中心に伺います。

2日目　9月11日(水)　10:30～17:10

●分科会1

10:30～11:40

1－A　**「パナソニックの働きがい改革 A Better Workstyle」**

～「社外留職」「社内複業」等による働き方改革の進化～

パナソニック㈱　A Better Workstyle編集局主幹　井川和彦 氏

パナソニックは、2017年から社員の働きがいを高め、個人の成長を、企業の成長につなげる働きがい改革『A Better Workstyle』活動に取り組んでいます。2018年には会社に籍を置いたまま1年ほどベンチャー企業など他社で働く「社外留職」や、部門をまたいで働く「社内複業」などの制度をスタートさせ、人材の育成やイノベーション創出に繋げようとしています。本講演では、それらパナソニックの進化する働き方改革の取り組みについて伺います。

1－B　**「新たなステージに入る味の素働き方改革」**

～更なる質的働き方の向上を目指して～

味の素㈱　人事部労政グループ　兼　健康推進センター シニアマネージャー　菊地さや子 氏

味の素は、テレワークをはじめとした様々な働き方改革に先進的に取り組み、年間平均総実労働時間を1800時間に減らす目標を2年前倒しで2018年度末にほぼ達成するなど、着実に成果を出しています。今後は、限りのある労働時間の中で、創造的･価値を生み出す仕事へどれだけ取り組めるか、量だけでなく質の向上も追求する新たなステージを目指しています。本講演では、これまでの生産現場を含めた働き方改革への取り組みの成果、課題を中心に、進化する味の素の働き方について伺います。

昼　食

●分科会2

12:40～13:50

2－A　**「シニアを真の戦力に!定年延長、役職定年廃止」**

太陽生命保険㈱　人事課長　一番ヶ瀬智彦 氏

政府が本格的な議論をスタートさせた70歳定年制度に対し、産業界からは雇用コスト増を懸念する声が上がっています。そうした中、太陽生命保険では多くの企業で取り入れられている60歳から賃金をカットした雇用延長ではなく、役職定年を廃止し、同一賃金で65歳までの定年延長、65歳から70歳までは嘱託社員として再雇用する制度を先駆けて導入しています。本講演では、シニア層が高い意欲を持って、長く元気に働ける環境づくりへの取り組みについて伺います。

2－B　**「人財の価値を高めるフジクラ流健康経営」**

～社員が活き活きと働くために～

㈱フジクラ　CHO補佐
㈱フジクラ健康社会研究所　代表取締役　浅野健一郎 氏

経営戦略の一手法として昨今注目される「健康経営」。フジクラでは、この健康経営の概念が普及する以前から、活き活きと働ける環境づくりに着手し、社員のバイタルデータや活動量などを測定し、仕事のパフォーマンスに与える影響を考察しながら、健康増進につながる数々のプログラムを実施してきています。本講演では、社員が活き活きと働くためのフジクラ流健康経営の考え方と取り組みについて伺います。

●分科会3

14:10～15:20

3－A　**「増加する若手の離職;就労観の変化とその対応」**

～ミレニアル&Z世代の若手の生かし方･育て方～

㈱リクルートマネジメントソリューションズ　主任研究員　桑原正義 氏

今、企業に限らずさまざまな組織において従来の育成が機能しにくくなり、若手の離職が増加するなど、今の時代に有効な新たな新人若手育成のあり方が模索されています。こうした流れは、本質的には新人若手育成に限らず、これからのマネジメントやリーダーシップのあり方が問われる非常に重要なテーマです。本講演では、近い将来に職場のマジョリティとなる、ミレニアル&Z世代と呼ばれる新しい世代を生かし育てる組織づくりについて伺います。

3－B　**「働き方改革時代;パワハラにならない指導ポイント」**

～職場でのパワーハラスメント防止関連法が国会で可決、成立する中～

㈱アドバンテッジリスクマネジメント　シニアコンサルタント　キティこうぞう 氏

先般、職場でのパワハラ防止を義務付ける関連法が2019年5月の参院本会議で可決、成立しました。上下関係を背景としたパワハラは許されないと明記されるなど、企業としても同法への対応を含め、防止策の強化が求められてきています。本講演では、そうした状況変化を踏まえ、企業がとるべき適切な指導ポイントについて伺います。

●特別講演

15:40～17:00

「大谷流『ココロの元気』のつくり方」

㈲志縁塾　代表取締役　大谷由里子 氏

ストレスを過度に生み出さない捉え方、考え方、対処方法をしていくことは、職場における生産性向上に貢献する大きな要因のひとつです。本講演では、吉本興業「伝説の女マネージャー」として活躍された経験等を踏まえ、「世の中の元気な人に共通しているのは、興味･関心を多く持ち、自ら動き、自ら工夫をしていること」との考えを基にした、感動の「か」、興味の「き」、工夫の「く」、健康の「け」、行動もしくは恋の「こ」という“か･き･く･け･こ理論”を中心に、「大谷流『ココロの元気』のつくり方」のポイントについて伺います。

●閉会挨拶

17:00～17:10　中部地方労働組合生産性会議　議長　西野勝義（トヨタ自動車労組　執行委員長）

講師紹介

● 講 演 1

1日目　9月10日(火)
13:10～14:10

藤 田 直 志 氏　日本航空㈱　代表取締役副社長

国際基督教大学教養学部卒。1981年日本航空㈱入社、沖縄支店配属。2006年4月より東京支店国際販売業務部長、2007年4月より東京支店法人センター法人業務部長、2009年6月より東京支店販売業務部長を務める。2010年2月 ㈱日本航空 執行役員就任、2012年2月日本航空㈱（2011年4月1日 商号変更）常務執行役員、2013年4月同社 専務執行役員、2014年6月取締役専務執行役員、2015年4月㈱ジャルセールス社長を兼任。2016年4月より現職。

● 講 演 2

14:30～15:40

近 藤 宣 之 氏　㈱日本レーザー　代表取締役会長

1944年生まれ。慶應義塾大学工学部電気工学科卒業後、日本電子㈱入社。1989年、同社取締役米国支配人就任。1994年、子会社の㈱日本レーザー代表取締役社長に就任。2018年、同社　代表取締役会長（CEO）に就任。人を大切にしながら利益を上げる改革で、就任1年目から黒字化させ、現在まで25年連続黒字、10年以上離職率ほぼゼロに導く。2007年、ファンドを入れずに役員･正社員･嘱託職員が株主となる日本初の「MEBO」を実施。親会社から完全独立、日本では例のないCo-owned Businessとなる。2011年、第1回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の「中小企業庁長官賞」など、経済産業省、厚生労働省などから受賞多数。

● 講 演 3

16:00～17:20

ﾃﾞｰﾋﾞｯﾄﾞ･ｱﾄｷﾝｿﾝ 氏　㈱小西美術工藝社　代表取締役社長

1965年イギリス生まれ。オックスフォード大学（日本学専攻）卒業後、大手コンサルタント会社や証券会社を経て、1992年ゴールドマン･サックス証券会社入社。大手銀行の不良債権問題をいち早く指摘し、再編の契機となった。同社取締役を経てパートナー（共同出資者）となるが、2007年退社。2009年に創立300年余りの国宝･重要文化財の補修を手掛ける㈱小西美術工藝社入社、取締役に就任。2011年代表取締役会長兼社長、2014年に代表取締役社長に就任し現在に至る。

● 分科会 1

2日目　9月11日(水)
10:30～11:40

1－A

井 川 和 彦 氏　パナソニック㈱　A Better Workstyle編集局主幹

1987年　豊橋技術科学大学院修了後、パナソニック㈱入社。10年間、海外部門で北米向け特機営業に従事の後、1997年 労働組合専従就任。以降、コーポレート組織を束ねる労働組合委員長等を経て、2016年に20年ぶりに本社人事労政部へ職場復帰。2017年4月　ダイバーシティ･組織開発推進室　室長。2017年11月より、新設のA Better Workstyle編集局局長に就任し、全社の働きがい改革に注力。2019年4月よりA Better Workstyle編集局 (兼) 人事労政部 主幹。

1－B

菊 地 さ や 子 氏　味の素㈱　人事部労政グループ　兼　健康推進センター シニアマネージャー

1994年味の素㈱入社。営業内勤→人事部（採用･教育）→事業部門（採算管理、生産管理）→営業部門人事総務→再び人事部と多様な経験を積む。営業部門においては、オフィスレイアウト改革を実施。現在は、多様な人財の多様な活躍を目指し、働き方改革、健康経営などに取り組む。

● 分科会２

12:40～13:50

２－Ａ

一番ヶ瀬智彦 氏　　太陽生命保険㈱　人事課長

1997年入社。資産運用部門や津支社長を経て2017年に人事部へ配属。定年延長制導入のプロジェクトメンバーとして、生命保険業界で初となる「65歳定年制度」「70歳までの継続雇用制度」の創設に貢献した。現在は人事課長として働き方改革の推進、制度改革など多岐に渡る業務に取り組んでいる。

２－Ｂ

浅 野 健 一 郎 氏　　㈱フジクラ　ＣＨＯ補佐
㈱フジクラ健康社会研究所　代表取締役

1989年藤倉電線㈱（現㈱フジクラ）に入社。光エレクトロニクス研究所に配属され光通信システムの研究に従事。2011年よりコーポレート企画室で健康経営の企画立案に携わり、2014年より人事･総務部健康経営推進室。2017年12月よりCHO（Chief Health Officer）補佐。現在、経済産業省　次世代ヘルスケア産業協議会　健康投資WG専門委員、厚生労働省　日本健康会議　健康スコアリングWG委員、厚生労働省肝炎対策プロジェクト実行委員他、経済産業省、厚生労働省等の委員を多数兼任。

● 分科会３

14:10～15:20

３－Ａ

桑　原　正　義 氏　　㈱リクルートマネジメントソリューションズ　主任研究員

1992年4月人事測定研究所（現㈱リクルートマネジメントソリューションズ）入社。営業、商品開発、マーケティングマネジャー、コンサルタント職を経て、2015年よりトレーニング商品の開発に携わる。新人若手育成を専門領域とし、10年以上のコンサルティング経験を土台に、これからの時代の育成や学習手法の研究開発に取り組んでいる。NPO法人青春基地にプロボノ参加中。

３－Ｂ

キティこうぞう 氏　　㈱アドバンテッジリスクマネジメント　シニアコンサルタント

本名は鬼頭幸三。1964年名古屋生まれ。1987年名古屋大学経済学部経営学科卒業。同年㈱名鉄百貨店入社。子供服売場、法人外商を経て、2000年から6年間、名鉄百貨店労働組合執行委員長を務める。その後、同社人事部で採用および社員の人材教育･キャリア開発に関わる。現在は㈱アドバンテッジリスクマネジメントでシニアコンサルタントとして講演活動を行っている。労働組合の役員を10年以上務め、社員のカウンセリングにも関わる。企業や労組を中心にコミュニケーション･メンタルヘルスの講演･研修を行っている。

● 特別講演

15:40～17:00

大 谷 由 里 子 氏　　㈲志縁塾　代表取締役

奈良県出身。京都ノートルダム女子大学を卒業後、吉本興業㈱へ入社。若手芸人を次々と売り出した「伝説の女マネージャー」として知られる。「よしもと印　天然素材プロジェクト」では、ナインティナインや、雨上がり決死隊の売り出しに尽力。2016年、法政大学大学院･政策創造研究科を修了。「笑い」を用いた自立･自走の「人材育成法」は、NHKスペシャルや日本経済新聞など数々のメディアで話題となる。「ビートたけしのいかがなもの会」（テレビ朝日）、テレビ寺子屋（フジテレビ）にも出演。著書は、35冊を数える。

開催要領

と　　き ／ **2019年9月10日（火）・11日（水）**

ところ ／ **メルパルク名古屋**　〒461-0004　名古屋市東区葵3−16−16
TEL〈052〉937−3535（裏表紙に地図を記載しております。）

対　　象 ／ **中部地域に所在する企業労使関係者（経営者、部門責任者、担当者、労組役員等）**

参 加 費 ／ **33,480円**（資料代、消費税8%、2日目の昼食代を含む）

申込方法 ／ ① ホームページの専用フォームからお申し込み下さい。
又、FAXにてのお申し込みの際は、次項の参加申込書に必要事項を記入の上、ご送付下さい。
② 分科会（1・2・3）について 参加の希望（○印）をそれぞれご記入下さい。

お願い事項 ／ ① お申し込み受付後、次頁の参加申込 1 の方宛へ、請求書、参加申込分の参加証をご送付いたします。参加費につきましては、9月9日（月）までに下記の指定銀行へお振込み願います。なお、参加費のお支払いの際に発生します振込手数料については、お客様にてご負担願います。
② 9月4日（水）以降の参加申し込みの取消の場合は、参加費の払戻しをいたしかねますのでご了承願います。
③ 撮影・録画・録音はお断りいたします。

申し込み期限 ／ **2019年 9月3日（火）**

口座名義：**一般財団法人 中部生産性本部**

振込銀行
口座番号
（順不同）

三菱UFJ銀行鶴舞支店	普通 No.	1603808	東海労働金庫本店営業部	当座 No.	513
愛知銀行本店営業部	当座 No.	2652	中京銀行本店営業部	当座 No.	112404
名古屋銀行上前津支店	当座 No.	3116132	りそな銀行名古屋支店	当座 No.	494096
大垣共立銀行名古屋支店	普通 No.	913545	岡崎信用金庫名古屋支店	普通 No.	9034377

個人情報の取り扱い

❶ 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ（https://www.cpc.or.jp）をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。
❷ お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
❸ 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
❹ 本案内記載事項の無断転載をお断りします。

個人情報に関する問い合わせ窓口　担当 齋藤・岩本　TEL052-221-1261

お問い合せ

一般財団法人　**中部生産性本部**　《 https://www.cpc.or.jp/cpc/ 》
TEL (052) 221−1261　FAX (052) 221−1265
〒460-0003 名古屋市中区錦2−15−15 豊島ビル11階　担当：雲井・鬼頭・上田

2019.6.20

一般財団法人 **中部生産性本部** 行
FAX 052−221−1265

2019 年　　月　　日

中部生産性会議 2019 参加申込書

ホームページからも
お申し込みいただけます。
中部生産性会議　検索

フリガナ

組織名

〒　　−

所在地

TEL（　　）　　−　　FAX（　　）　　−

下記の通り参加申込みいたします。（請求書・参加証は申込者 **1** の方宛へお送りします）

記入例	所属役職	人事部　部長	日程	9／11（水）					
			分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	氏名	（フリガナ）チュウブ　タロウ 中部　太郎	希望	○			○		○
	E-mail	seisansei @ cpc.or.jp							

※【記入例】の通り、各分科会 1−（A・B）、2−（A・B）、3−（A・B）のご参加の希望（○印）をご記入願います。

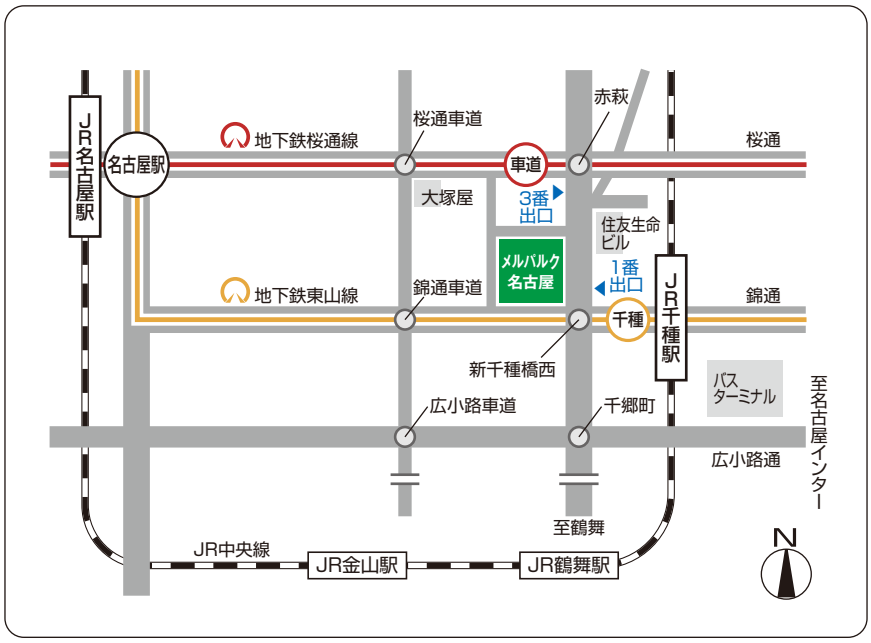
			日程	9／11（水）					
1	所属役職		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	氏名	（フリガナ）	希望						
	E-mail								
2	所属役職		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	氏名	（フリガナ）	希望						
	E-mail								
3	所属役職		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	氏名	（フリガナ）	希望						
	E-mail								
4	所属役職		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	氏名	（フリガナ）	希望						
	E-mail								
5	所属役職		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	氏名	（フリガナ）	希望						
	E-mail								

備考欄

いずれかに☑をお付け下さい。　☐ 申込み後の受取請求書にて振込み　☐ 事前振込み（請求書不要）　月　日振込予定

※事務局記入欄　33,480円 ×　　名 ＝　　円　請求日　　/　　No.102019

会場略図 ［メルパルク名古屋］



- 千種駅（JR中央線・地下鉄東山線）１番出口正面すぐ
- 車道駅（地下鉄桜通線）３番出口より 徒歩２分

※ 会場には駐車場（有料：170台分）があります。